

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

高齢者の運転

最近の新聞記事から（引用）

「高齢運転者の事故抑止 改正道交法成立 技能検査 22年6月までに施行」

（読売新聞 2020年6月3日）朝刊 2面

「一定の違反歴のある75歳以上のドライバーを対象とする「運転技能検査」と「あおり運転罪」の創設などが盛り込まれた改正道路交通法は2日、衆院本会議で可決、成立した。」

昨今の高齢ドライバーによる交通事故情勢等に対応するため、令和2年6月10日公布の「道路交通法の一部を改正する法律」によって次のような事故対策の充実・強化が図られ、令和4年6月までに施行されることになりました。

- ① 75歳以上で一定の違反歴のある者は運転免許証更新時に運転技能検査を受検し、検査の結果が一定の基準に達しない者には運転免許証の更新をしない。
- ② 申請により、対象車両を安全運転サポート車に限定するなどの条件付免許を与える。

また、この問題に取り組む場合、高齢者が安心して生活できるような地域社会環境の整備についても考える必要があります。そこで、今回は高齢ドライバーの事故防止や交通弱者の移動手段をどう確保していくかについて、考える際に役立つ資料を紹介します。

書名・記事名・サイト名	出版情報等	
交通安全白書	内閣府編集 年刊 中央：6813/4 西部：6813/1 https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/index-t.html	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Web情報</div>
<p>交通安全対策基本法の規定に基づき、毎年国会に提出されている交通安全に関する年次報告書。毎年の交通事故の状況や交通安全施策の状況の報告・計画のほか、交通問題や最新の取組をトピックスとして扱っている。令和元年度版では「高齢運転者の交通事故防止対策について」、令和2年度版では「先端技術について」が取り上げられた。</p>		
高齢ドライバーの安全心理学	松浦常夫著 東京大学出版会 2017 東部：6813/76	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書</div> 
<p>交通心理学の専門家が様々な調査や統計データを基に、高齢者の肉体的・心理的・医学的な問題、シニアライフと運転の関わり、行政の取組などの切り口から「高齢ドライバーの安全」を考察する。危険視されがちな高齢ドライバーの実態を明らかにすることで、高齢者が安全な運転を続けるためにはどのような点に気を付ければよいか、それができなくなった場合の対処法を考える助けになる1冊。</p>		
家族みんなで考える「運転免許返納」ガイド	日本交通安全教育普及協会監修 洋泉社 2019 東部：6851/20	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">図書</div> 
<p>第1章では運転に必要な身体機能をチェックする自己診断を行うことができ、また第2章・第3章では、自主返納の流れや返納後の生活のシミュレーションなど、自身や家族の運転に不安を覚えた場合の対処法について書かれている。免許の自主返納を行った家族の体験談や支援機関も紹介されており、運転免許返納を検討する場合の参考となる本。</p>		

書名・記事名・サイト名	出版情報等	
モビリティと人の未来 自動運転は人を幸せにするか	「モビリティと人の未来」編集部編 平凡社 2019 東部：68504/1	
<p>自動運転技術によって社会はどう変わるのか、そして変化を通じてより良い社会を作るにはどのような議論を重ねていけばよいかをテーマとし、各分野の専門家の論説を掲載している。第2部では自動運転技術の進歩によって変化が起きている分野の現在と今後の動向を考察しており、高齢ドライバーによる事故防止対策や車に代わる新たな一人乗り用の移動手段＝パーソナルモビリティについても触れられている。</p>		
都市自治体による持続可能なモビリティ政策 まちづくり・公共交通・ICT	日本都市センター企画・編集 日本都市センター 2018 中央：6818/40	
<p>「人がどう動けるようにするか(＝モビリティ政策)」とその持続可能性について議論を深めてきた「都市自治体のモビリティに関する研究会」がその成果をまとめた本。公共交通機関の活性化、都市計画、ICTの活用、公共交通政策に関連した自治体財政の実態といった様々な視点からのモビリティ政策に関する論考や、現地調査、都市自治体を対象にしたアンケートを通じ、モビリティ政策の今後とひいては持続可能な街づくりについて論じている。</p>		
特集 地域交通ネクストステージ	『日経コンストラクション』667号(日経BP社 2017年7月) p30-51 西部	
<p>LRT(次世代型路面電車)やBRT(バス高速輸送システム)、乗り合いタクシーをはじめとするデマンド型交通システムなどの新しい交通システムを導入した自治体の事例や、自動運転システムといった交通の新技术を開発する企業の事例を紹介している。新型交通システムのメリットだけでなく、システムを導入・運用していく上で見えた課題や今後の展望にも触れている。</p>		
特集 自治体における高齢運転者の交通事故防止対策と交通支援	『自治体法務研究』49号(ぎょうせい 2017年5月) p5-48 中央	
<p>高齢ドライバーによる事故を減らすため、自治体側はどのような交通支援策やインフラ整備を行っていけばよいかを考える際に役立つ特集記事。高齢ドライバーや地方公共交通を取り巻く情勢に始まり、各自治体が行っている高齢ドライバーの支援事業や公共交通施策、条例制定の取組の紹介など、多角的な視点から高齢者の交通問題について考えている。</p>		
運転寿命延伸プロジェクト・コンソーシアム	国立長寿医療センター (https://www.ncgg.go.jp/cgss/department/cre/gold/index.html)	
<p>高齢者の運転に関わる企業、研究機関、保健・医療・福祉機関などが連携し、高齢者が安全に運転できる期間＝運転寿命を延ばすための研究や、それを元にした商品・安全運転プログラムの開発の推進などを行っている。</p>		
高齢ドライバードットコム	一般財団法人 トヨタモビリティ基金 (https://koureidriver.com/)	
<p>高齢ドライバーとその家族に役立つ情報を集めた総合サイト。安全に車に乗り続けるための運転習慣、車の安全装備と助成制度、免許返納を検討した際の家族の接し方、車以外の移動手段の提案など、高齢者が運転を続ける中で本人や家族が感じる疑問や不安を解消するのに参考となる情報を掲載している。</p>		

(インターネットの最終確認日：2020年11月19日)

作成：千葉県立東部図書館